

# 「環境と文化の都市・飯田のまちづくり、 地域の伝統芸能と社会」

担当教員名 安藤 俊次／石神 隆

## 1 コースの概要

日 程	2013年 8月2日～5日
場 所	長野県飯田市ほか
参加人数	45名

## 2 コースの目的

旧城下町である飯田市は、人口約10万人の自然豊かな地方都市です。ここでは人形劇とリンゴ並木を愛し、エコツーリズムを推進する南信州の環境文化都市として有名です。当フィールドスタディでは、人形劇フェスティバルへの参加を通し、また、環境重視のまちづくりをめざす飯田市の政策や活動を多方面から学ぶことにより、新しい地域のあり方を考えます。さらに伝統的な芸能を鑑賞、妻籠（つまご）および馬籠（まごめ）地域の伝統的町並みを視察することにより、文化の伝承と地域づくりを総合的体験的に学習していきます。

## 3 事前学習

飯田地域の自然、文化、社会、経済について、資料やスライドを用いたの学習やディスカッションをします。また、伝統芸能・人形浄瑠璃の背景や内容、鑑賞の仕方などを学びます。さらに、フェスティバル参加の予備練習も行います。

## 4 行程（内容）

### 1日目

朝 東京発(全行程 貸切バス) 諏訪インター経由  
午後 飯田遠山郷(山間部)着 オリエンテーション  
夕刻 山間部の自然(川・山)探索 各種学習イベント

### 2日目

午前 遠山郷にて民俗・文化探索(和田城址の里の山国生活文化を学習)  
旧木沢小学校見学(校舎復活の取組みを学ぶ)  
午後 飯田市中心部 飯田市の地方自治等に関する講義、まち歩き、人形劇フェスティバル見学  
夜 りんごん祭り(町ぐるみ夜踊り)に踊り連として参加

### 3日目

午前 現地まちづくり学習(自治体経営ほか、天竜峡にて)  
午後 伝統的芸能「人形浄瑠璃」の鑑賞(今田人形の館にて)  
夕刻 まちづくり学習(インストラクターによる市内見学、中心市街地活性化の取組み)ほか

### 4日目

朝 飯田市中心部出発、伝統産業(水引工芸)見学  
昼間 旧中仙道宿場町、妻籠宿および馬籠宿に移動  
歴史的町並み保存地区の見学・現地学習  
夕刻 東京着



りんごん踊りにて



まちづくり講義



米国人による人形浄瑠璃の鑑賞



米国人による伝統芸能

## 5 事後学習

各人が考えたテーマで作成したレポートに基づきそれぞれ発表し、飯田地域を多方面から理解します。その後、現地体験を通しての飯田地域の現在や将来についてディスカッションします。

## 6 雑感

飯田地域は地域史や伝統文化の宝庫で、汲めども尽きない興味深い地域で様々な学びの場があります。本フィールドスタディでは、フェスティバル期間中の「りんごん踊り」（約2万人が参加する市民行事）に、他参加大学と一緒に大学連として出場します。このような積極的な参加を通して、少しでも市民のアンクルからの地域をみる目を養っていきます。参加した一人ひとりが飯田ファンになり、地域というものへの愛着をばぐむ豊かな経験となって残っています。



伝統的街並み保存の見学



伝統工芸（水引）見学

## 学生の声

### 飯田市の町づくりに触れて

今回のフィールドスタディでは、飯田市の町づくりを中心に勉強しました。飯田市では町ぐるみでの活動が多く、その一つが今田人形浄瑠璃です。人形浄瑠璃を上演する人形劇場も市民の方々がお金を出し合って建設をしたり、浄瑠璃の運営や演技も全て市民の方々が行ったりと、市民一人一人の高い意識がないとできることではないと感じました。



1年 大古 千聖

今回飯田市へ行き、「市民主体のまち」であるのだと肌で感じることができました。市民の皆様の飯田市への思いを感じ、市民と行政が支えあい、のびのびと活動されており、理想のまちだと感じました。座学では知ることのできないことを知り、さらに貴重な体験をさせていただきました。これからの大学での勉強や将来に活かしていきたいです。

今回はお忙しい中、私たちのためにお時間を作っていただいた飯田市の方々に感謝いたします。